

令和7年度 港区立港南小学校 学校経営計画

校長 吉川 浩一

1 教育目標

人間尊重の精神を培い、心身ともに健やかで広く世界に目を向けた、個性豊かな意欲あふれる児童の育成を目指す。

○よく考えて学習する子

自分の力にあった学習課題をもち、解決しようとする子

○すなおで心豊かな子

思いやりの心をもち、友達や自分を大切にする子

○進んではたらき協力する子

みんなのためになる仕事に進んで取り組み、友達と協力する子

○健康でがんばりぬく子

様々なことを粘り強く最後までやりとげ、進んで心身を鍛える子

2 目指す学校像

◎子どもたちが楽しいとすることができる学校

- ・学んでよかった学校（学習がわかる・できる・楽しい、ほめられる、友達がいる）
- ・きまりのある学校（あいさつが活発、丁寧な言葉使い、ルール・時間を守る）

○教職員にとって働きがいのある学校

- ・活力ある学校（情熱と使命感をもち、チームで行動、心身ともに健康で人間性豊か）
- ・子どもと共に成長を感じる学校（やりがいのある職場）

○保護者や地域にとって信頼できる学校

- ・開かれた学校（教育活動の積極的な公開、情報発信）
- ・安全・安心な学校（安全点検・安全指導の充実、子どもの安全対応力の育成）

3 中期的経営目標

知・徳・体のバランスのとれた教育活動を推進し、子どもたちが将来、社会でたくましく生き抜く素養と豊かな情操を育む。

（1）確かな学力

- ・子供が学びの楽しさや必要性を理解し、生涯にわたって学び続けようとする態度
- ・基礎学力が充実し、個に応じた一段高い学力
- ・課題を発見し、考え、解決する問題解決の力
- ・主体的・対話的で深い学びの学習を積み重ね、コミュニケーション力を高める
- ・ICTを活用した多様な学習方法を用いて学びに向かう力を育てる

(2) 社会性の育成

- ・社会のルールの一必要性を理解し、遵守する態度
- ・自らを律する態度
- ・他者を理解し、尊重する人権意識もてるような態度
- ・生命を尊重する態度

(3) 豊かな情操

- ・豊かな表現力 ・感動する心
- ・崇高なものを受容し求める心
- ・自己肯定感や自尊感情の高まり
- ・感情や情緒の安定

(4) 健康づくりの実践力

- ・健康の重要性を理解し、進んで健康づくりに取り組む態度
- ・運動の楽しさを体感し、日常生活に運動を取り入れる姿勢
- ・食に対する正しい知識と望ましい食習慣
- ・専門家等による保健教育の実施により自らの健康に対する意識の高揚

(5) 特別支援教育の充実

- ・個に応じた自立支援の充実
- ・個別の教育支援計画、個別指導計画の作成
- ・特別支援教育について教職員の共通理解

4 令和7年度重点目標

(1) 確かな学力の定着

①わかる授業、できる授業、楽しい授業

- ・学習のめあてや見通しが明確で、主体的・対話的で深い学びを目指す授業を実践
- ・学習した内容がわかるノート指導
- ・ICT 機器を活用した複線型授業の展開
- ・教員の専門性を生かした交換授業（高学年）
- ・国際科専科教員と NT との専門性を生かした国際科授業の充実

②基礎基本の定着

- ・港南スタンダードをもとにした学習規律の定着
- ・朝学習を活用した基礎基本の習熟
- ・算数少人数指導（2年生以上）による一人一人の学習状況に応じた指導
- ・朝読書、読書週間の設定

③環境教育の充実

- ・東京海洋大学や地域、保護者と連携した地域環境学習の実施

(2) 豊かな心の育成

①規範意識の涵養

- ・あいさつの励行、きまり・ルールを守る指導
- ・港南スタンダードをもとにした生活指導
- ・情報モラル教育の充実

②交流活動の充実

- ・フレンドリータイムによる異学年交流活動
- ・ふれあい発表会による異学年交流
- ・特別支援学級、幼稚園・保育園との交流活動

③道徳教育 情操教育の推進

- ・道徳科授業の充実
- ・音楽の低学年から専科教員による指導
- ・図工作品の常設展示

④いじめ防止・不登校への対応

- ・専門家も交えた組織的対応
- ・学校生活アンケートの毎月実施
- ・SC、SSW 等の関係機関との連携

(3) 健康でたくましい体の育成

①体力向上

- ・フレンドリータイムを活用した運動遊びの充実
- ・体力向上週間の設定（年2回）

②体育科学習の充実

- ・運動量の確保（時間割・場の工夫）
- ・運動する楽しさを感じられる授業の展開
- ・I C T機器の活用

③保健教育・食育指導の充実

- ・養護教諭と連携した授業
- ・食育年間計画に基づいた食に対する理解を深める指導
- ・給食スタンダードに基づいた給食指導
- ・もぐもぐチャレンジウィーク実施
- ・リクエスト給食の実施

5 教職員の働き方改革

(1) S S SやE A、学校経営支援補佐を活用し、業務の効率化を図る。

(2) 毎月の教職員学校評価を実施し、業務改善を図る。

(3) I C Tを活用し、会議の精選を図る。

6 取組の評価

(1) 今年度の取組状況については、保護者や地域の皆様に以下の方法で報告する。

○学校だよりに掲載する。

○ホームページで公表する。

○授業参観、学校公開日、学校説明会等で教育活動を紹介する。

○学校運営協議会で報告する。

(2) 目標達成についての評価は、以下の方法で実施する。

○教職員による内部評価を実施する。

○保護者アンケート・児童アンケートを実施する。

○学校運営協議会委員による評価を実施する。

評価結果は、整理し考察を加え、年度末までに保護者や地域の皆様にお知らせする。